

新月灯花

第一号
発行日：3月7日
不定期発行
責任編集：新月灯花

私たち「新月灯花」は、昨年4月から毎月福島に行っています。また、原発デモにも出来るだけ参加するようになっています。その新聞ではそこで出会った人に直接声を頂いて作られています。今回は、祝島の方々への応援メッセージを集めました。

創刊記念特集

頑張れ祝島！

秋吉久美子さん



女優。ユニークで自由な発言や、個性的で鋭い感性が注目される。アジア映画祭主演女優賞、日本アカデミー賞優秀主演女優賞、ブルーリボン賞主演女優賞など数々の賞を受賞している。
<http://akiyoshikumiko.jp/>

もうこれは人類の問題だと思っています。伝えるまでもなく、福島を見ればもう誰もがわかってきているでしょう。子供達のことを考えて！それだけ！

Misao Redwolfさん



NONNUKES MORE HEARTSを主催。イラストレーター、デザイナー。小泉今日子やチャッカーズなどの衣装デザイナーに関わり、ANNA SUIのデザイナーを手掛ける。
<http://www.misaoredwolf.com/>

私、操(ミサオ)と言います。五年前からNONNUKES MORE HEARTSというグループで活動しています。

三月十一日以前は、多くの人が原発問題を知らなかったのに、ライブイベントで人を集めて伝えたり、イベント後にデモをやったりしていました。主に六力所村の再処理工場はじめ、原発全般に関することをやっていたんですが、約二年前から「上関どうするネット」というのが立ち上がり、そこにも入っています。「上関どうするネット」では、東京で上関のことを伝えるためのイベントやデモをやったり、議員さんに直接訴える「ロビープロジェクト」など他にも色々なプロジェクトも有ります。

私はその中で、イベントやデモの企画、フライヤーデザインなどをやっています。そういった中で上関の方と直接会ってお話をしたこともあります。最初は反対していてもお金や雇用でとりこまれ最終的に

に原発を受け入れる地域が多い中で、上関祝島のみならずは守りたいものがハッキリしているし、人としての誇りを三十年間貫かれています。私自身、自分の職業を脇において五年前からこういうことをしていますが、「人としての尊厳を守りたい」というのが一番のモチベーションになっています。東京でできる事は限られていますが、これからも一緒に頑張れたらと思っています。

THE NEWS



女性トリオの社会派ロックバンド。一九八五年から活動。

頑張ってください。こんなことぐらいしか言えないのが歯がゆいですが頑張ってください！

私たちが以前、三重県の芦浜原発の建設反対集会に出演したことがあります。目の前で見た住民のオバちゃんたちの逞しさにただただ感動しました。そして芦浜原発建設は二〇〇〇年に白紙撤回になりました。まだ上関には行ったことがありませんが、きっと上関の方々も、逞しい素敵な顔をしているのだと思います。上関も白紙撤回を勝ち取れることを信じて下さい。頑張りはきつと報われるハズです。頑張ってください！

鈴木薫さん



福島県在住。「いわきアクション・ママの会」を立ち上げ、子供達を放射能から守るというテーマで活動中。放射能測定室も開いている。
<http://www.makiisokuteishi.tu.com/>

福島県いわき市の鈴木薫です。いわき放射能市民測定室「たらちね」で、毎日食品と身体ホルポディカウターの測定をしています。

散って、今みんなとても苦労しています。上関はまだ原発ができていないので、できれば今の綺麗な自然を守って、美しいままでいてほしいと思います。皆さん大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています。

松野尾かおるさん



「風をおこす女の会」を中心に、原発・差別排外主義反対運動をいろんな形でしている活動家。

祝島のみさんが、ずーっと、ずーっと闘い貫いて上関原発建設を止めてこられたことに、心からの敬意をお伝えし、お礼を申し上げます。2年半前(2009年8月)初めて祝島を訪れて、自然の美しさと豊かさに感動したことを忘れられません。その時、船で対岸の建設予定地まで船で案内して頂き、ほんとに「目と鼻の先に」原発が作られるという実感も持つことができました。福島原発のことを考えたら、4kmなんていうのは「敷地内」みたいなものですね。その年の9月からの埋立て工事着工阻止闘争のときも、矢も楯もたらず一度田名へいって、少しの間、座り込みに入れていただきました。

「命をかけて、生活かけて建設を阻止する」という島のみなさんの強い意志に力を頂きました。その後は、再訪の機会をもてないでしまいましたが、上関のニュースはいつも関心を持っていました。

福島原発事故がありながら、中国電力はまだ上関原発を諦めていませんね。今、若い人たちもどんどん脱原発で動き始めているとき、この勢いで建設を白紙撤回させ、全ての原発をなくす為頑張りたいと思います。寒さ厳しい冬でしたが、温暖な瀬戸内にある祝島は、もう早春の薫りにつつまれているだろうか、はるか大阪から想像しています。これからもみなさんと心をつなげて関西でがんばります。

庄野真代さん



「飛んでイスタンブール」"モントカルロで乾杯"など数々のヒット曲をリリース。現在はNPO法人「国境なき楽団」の理事を務め、チャリティーコンサートにも積極的に参加している。
<http://partie.rakurak.com/~mago/>

世の中には「本当の声」が届かない事って凄く多いですね。「本当の声」っていうのは、もしかしたら小さい声かもしれないけど、その「小さい声」が聞こえる所にいる人が、同じように小さい声を出したら、「大きな声」になって、遠くまで届いて行くんじゃないかなあって思っています。そうやって色んな人が集まっていて、音楽っていうのがその接着剤になって、色んな声を集められるのであれば、私達は頑張ってください。みんな力を合わせて、心の中にある色んな模様とか景色とか、そういうのを伝えて行けたらいいなと思います。

私たちの「何も知らなかった」という大罪について(1)

新月灯花

三月十二日。福島第一原発一号機が爆発したTV映像を見た。なんだか分からないが、言いようのない不安に襲われました。(なんかや、バいぞ...)

頭の中でリフレインした。津波で電源を失い、水が送れず原子炉を冷やせなければ、原子炉は絶えず水で冷やさないといけない。核融合を起し、ドンドン高熱になって原子炉圧力容器を溶かし格納容器を突き抜け外部に放射性物質を撒き散らすそう。恥ずかしいことに、原発が水で絶えず冷やさなきゃならないことなんてまったく知りませんでした。ましてや、どの位の量の水が必要で、メルトダウンが始まるとどんな事になるのかもまったく知りません。つまり、何も知らないんです。

「原発は危ない」という認識があり、電気に頼らないでも音楽活動出来るようにしよう、とか思っていたにも関わらず何にも知らないんです。このままじゃ嫌だ。何かしなきゃとにかく現場に行ってみよう。そう思って、福島避難所に電話をして行くことを決めたのです。



新月灯花 http://www.inglab.com/shingetu_toka/

基本どこでもできる！電気がなくても楽しめる！編成にこだわらない変幻自在の音楽ユニット「新月灯花」。便利で身勝手な世の中であんな生きにくいなくなっている私たち。もっと自由に自然な解放を表現したい！

— 続く —